

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	公園維持管理費			
担当課係名	都市整備 課	住宅公園 係	作成者	草薙正敏
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ 81
	基本計画	公園や緑地の整備		
	主要施策	都市公園の管理と利用促進		
予算費目	一般 会計	8 款 土木費	4 項 都市計画費	4 目 公園費
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規/継続の区分		継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス	<input type="checkbox"/> 公共事業	<input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	-			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 直営 (一部民間委託)	<input type="checkbox"/> 民間委託 (全部)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民並びに来訪者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の憩いの場、レクリエーションの場として、市民が快適で楽しく利用できる環境づくりに努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施する。維持監理業務の草刈り作業は業者へ、植木の冬囲いはシルバー人材センターへ委託している。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績		
効果	活動指標	維持管理実日数 (委託日数)	目標	日	235	
			実績	日	235	
			達成度	%	100.0%	
	成果指標	市民1人当たりの公園面積 (ha)	目標	ha	8.88	
			実績	ha	8.42	
			達成度	%	94.8%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額 (千円)		
	事業費 (人件費を除く) (A)			7,185		
	人 件 費 (B)		—	9,666		
	職 員 数		—	1.14		
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	16,851		
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	
		県 支 出 金			0	
		地 方 債			0	
		そ の 他			0	
		一 般 財 源			16,851	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—	71,706		
	市民1人当たりのコスト (円)		—	566		

【事務事業の今までの成果】

憩いの場として、心地よく利用できる環境を提供している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	緑化については、地球温暖化の視点から毎年推進が求められている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	通常の草刈りと併せ、樹木の剪定も必要となっている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
<b>B 2</b>	A 現状のまま継続（実施）	草刈り作業については委託で行っているが、古城山・花場山公園の樹木の管理が十分でないため、手段改善の必要があることからB2と判断した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

樹木の管理（下刈り・枝打ち等）について、年次計画を検討し対応したい。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
<b>B 2</b>	市民の憩いの場かつレクリエーションの場として、快適に利用できる環境作りが必要と考えます。利便性の向上を図りつつ維持管理費の圧縮に努め、継続実施と考えます。

